



近代産業遺産甲武橋の補修工事が始まった



南部橋架け替え工事で新しい橋脚工事準備が始まる



堤防強化工事（大島工区）意外と浅い大木の根。



大島工区施工図 同じ工区でも微妙に仕様が異なる。



仁川堤防強化工事区間の松に赤い紐が、伐採対象？



8号堰下流の堆積土砂撤去工事区域の現状

河川改修期間の11月に入り各所で改修工事が始まった。近代産業遺産武庫大橋も改修工事が始まり遺産に相応しい姿を維持してくれるだろう。南部橋の架け替え工事も本格化し架設歩道橋や橋脚工事も本格化した。一度作ると永遠に使えると思える河川施設も月日の経過と共に老朽化してくる。武庫大橋と南部橋の工事を見ているとせっせと手入れし続けるか作り直すかの選択肢があることが分かる。堤防強化工事でも場所によって微妙に仕様が異なるようだ。表面が剥き出しの低水護岸はモザイク状になっているが、堤防表面は芝や草で覆われ外面状はどれも同じように見えるがm」場所毎に最適な工法が執られているのだろう。松林があって憩いの場になっている仁川付近も堤防強化工事が行われるようで工事資材置き場の設置工事が始まっていた。工事区域に含まれるだろうと思う堤防の松の木に赤い紐が巻かれ伐採対象になったようだ。堤防強化は命を守る大切な工事だろうが、命を絶たれる松のことを思うと心が痛む。堆積土砂撤去工事区域の8号堰下流、どの程度掘削されるかわからないが流れは変わることは確かだろう。